

大阪大学箕面地区教職員組合

2022 年度 総会議案書

日時：2023 年 8 月 3 日（木）18 時～

場所：箕面キャンパス 2F 学術交流室

目 次

2022 年度のふりかえりと 2023 年度への申送り

1. 大学との交渉協議

（1）非常勤講師問題

（2）三六協定

2. その他の取り組み

（1）歓送会

（2）レクリエーション

（3）他の組合との情報交換

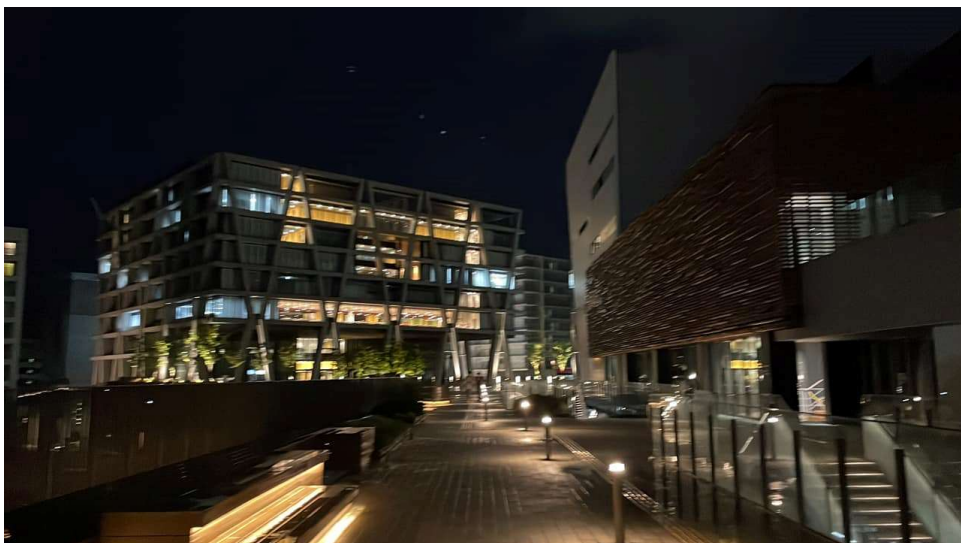
第 1 号議案 組合費の割引

第 2 号議案 来年度の活動方針

第 3 号議案 今年度の決算報告と来年度の予算案

資料

文責：大阪大学箕面地区教職員組合執行委員会



ご あ い さ つ

2022 年 2 月に始まった露ウ戦争は終結の見込みが立たず、未だに多くの人命が失われ続けています。遠い国で起きている事態に想像力を働かせ、エネルギーを注ぎ続けることは容易ではありませんが、組合としては、世界で起きている紛争や暴力に異を唱え、平和と連帯のためにできることをささやかでも継続する所存です。

学内ではとうとう 2023 年 4 月に非常勤講師の雇い止めが行われました。10 年雇い止めの問題は、他大学・機関でも持ち上がり、マスコミでも取り上げられましたが、大阪大学は、長年非常勤講師を労働者として扱ってこなかったことを逆手にとり、他大学のような雇い止めはないという立場を取っています。この問題は既に裁判に場所を移して闘われていますが、もともとと同じ職場でともに教育に携わってきた所謂「同志」の労働者の問題を看過することはできません。引き続き、大阪大学教職員組合とともに、関西圏大学非常勤講師組合との協力を進めていきたいと思います。

最後に、コロナによる行動規制が解かれ、賑やかなキャンパスが少しずつ戻ってきました。今後は明るい箕面キャンパスを作るために、新キャンパスの施設や立地を活かした新しい試みを増やしていけたらと思います。

2022 年度執行委員一同

藤原克美（委員長、過半数代表者）、横井幸子（副委員長）、今岡良子（書記長）、
原真由子（会計）、石黒暢（執行委員）酒井裕美（執行委員）

選挙管理委員：岡本真理、多田剛志

会計監査：米田信子、井上直子

2022 年度のふりかえりと 2023 年度への送り

1. 大学との交渉協議

(1) 非常勤講師問題

非常勤講師の雇い止めに関して大阪大学教職員組合と、関西圏大学非常勤講師組合とともに 10 月 27 日（木）、12 月 22 日（木）、3 月 1 日（金）の 3 度の団体交渉を行いました。

大学の主張は以下のようなもので、議論はかみ合わないまま終了しました。

1. 2022 年度末での非常勤講師 10 年雇い止めの撤回と、5 年上限既定の撤廃については、「約束できないものは約束しない」のでおこなわない

2. 非常勤講師の無期転換要求については、委嘱契約の期間は労働契約法の通算期間にあらず、該当者はいない

(2) 三六協定

2023 年 3 月 8 日、4 事業場（箕面、豊中、吹田、附属病院）の過半数代表者と大学との間で労使協定に関する協議が開かれました。

三六協定の内容は前年度と同じです。すなわち、2023 年度の時間外労働時間の上限は、月 45 時間、年 360 時間、特別条項として「臨時的な」場合に限り、月 80 時間、年間 450 時間となります。

3 月 30 日、2022 年度の過半数代表について 4 月より新たに含まれていた非常勤講師からの同意を得る作業を行い、過半数を超えたことが確認された時点で、藤原克美がサインをしました。

2. その他のとりくみ

(1) 歓送迎会

2022 年度末で、松月淳さんが退職されました。今年度も送別会は行わず、記念品のみを贈呈しました。

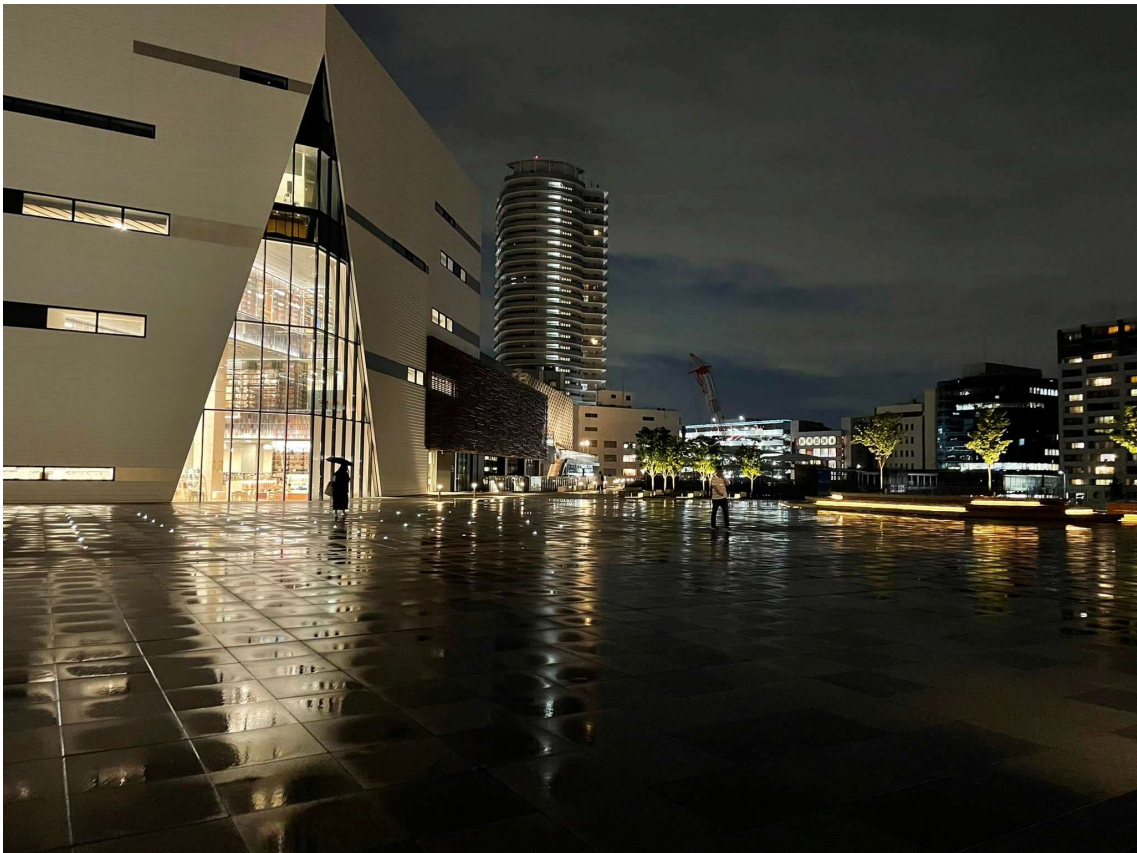
(2) レクリエーション

2023 年 1 月 5 日に 10F のもみじラウンジで新年会を行いました。飲食が可能になって初めての懇親会では、オードブルを囲んで楽しい時間を過ごしました。また、会議等様々な理由で参加できなかった方には、おしるこやコーヒーなどを詰めたセットをお渡ししました。

会議時間の変更など諸般の事情で中断されていた組合カフェをシン組合 Café として、2023 年 7 月 13 日に再開しました。場所は 3F の MAFGA のブースで、会議の前にコーヒーを飲みながら談笑しました。その後、組合員にはめずらしいキューバのクッキーを配りました。

（３）他の組合との情報交換

４過半数代表（豊中・吹田・附属病院および箕面）は、近年密な意見交換を行い、連名で要望書を出すなど協力を続けています。本年度も、三六協定協議に関する情報共有などで協力をしました。また大阪大学教職員組合と、関西圏大学非常勤講師組合とは、非常勤講師問題で情報を共有し、共同で団体交渉を実施しました。



第1号議案 組合費割引について

現在、新規入会者について、1年間の組合費を割り引くキャンペーンを実施しています。条件は以下のとおりですが、新規組合員勧誘のために、2023年度もこのキャンペーンを引き続き実施したいと思います。

キャンペーン内容 非常勤教職員は、一年間組合費無料
任期制の教員は、一年間、一ヶ月 500 円
※加入の月から1年間、該当する職種にある場合

第2号議案 来年度の活動方針

（1）使用者との交渉について

- ①組合執行委員が箕面地区労働者過半数代表を兼ねる方法を踏襲し、団体交渉権をもった労働者過半数代表者となります。
- ②教職員の雇用と労働条件を守るため、大阪大学教職員組合、言文組合、関西圏大学非常勤講師組合等との連携をさらに進めていきます。
- ③大学全体に共通する問題に関して、4事業所の過半数代表者との連携で大学に働きかけていきます。
- ④学生や非常勤講師も含めたキャンパスの安全や衛生の問題は、過半数代表者が任命した労働者代表委員を通じて、安全衛生委員会で協議を重ねていきます。

（2）具体的な取り組み

- ①事務補佐員の5年雇い止めを廃止するよう、引き続き大学に求めています。また、当事者である事務補佐員が組合に加入し、要求実現に向けてともに活動できるように努力します。
- ②外国学図書館との繋がりを深め、箕面キャンパス全体の課題の解決に取り組みます。
- ③非常勤講師組合との情報交換・協力を続けながら、非常勤講師の公募制度、雇い止めの問題に取り組みます。
- ④その他、教員の労働時間、箕面キャンパス教職員の通勤手段などの諸課題についても、引き続き検討・要望を重ねていきます。

（３）組合活動について

①組合への加入をよびかけ、箕面地区教職員の労働環境・労働条件について、より多くの当事者が声を上げ、活動に参加して要求実現できるように努力します。

②組合員の歓送迎会やレクリエーションなどの企画を行います。また、阪大組合や言文組合など、本学の他組合と情報共有や人的交流をさらに進めていきます。

《2023 年度役員》

執行委員長 原真由子

副執行委員長 今岡良子

書記長 岡本真理

会計 藤原克美

レクリエーション担当 依田純和、大辺理恵

会計監査 石黒暢、齋藤康則

第３号議案 来年度の予算案と今年度の決算報告書

（別紙参照）



